

# 信濃毎日新聞2020年4月23日朝刊



佐久市役所に届いた使い捨てマスク

中国側の協力で調達

## マスク1750枚を

## 佐久市に寄贈

白田地区活性化共同企業体

佐久市白田地区で移住促進に向けたサービスピス付き高齢者向け住宅を運営する「佐久市白田地区活性化共同企業体」（佐久市）が、新型コロナウイルスの感染防止に役立ててもらおうと中国から調達した使い捨てマスク1750枚を

市に贈り、20日に市役所に届いた。市は子どもたちと触れ合う保育士や児童館職員に配るとしている。

市によると、共同企業体は、白田地区のまちづくりに関わる会社「みんなのまちづくり」（東京）と建設会社の堀内組（佐久市）でつくり、佐久市から借りた市営住宅を活用してサービスピス付き高齢者向け住宅を運営している。みんなのまちづくり代表取締役の伊藤洋平さん（37）が日中友好にも関わる縁から、中国の関係者の協力を得てマスクを調達。伊藤さんは「佐久

市に貢献したかった。日中関係の改善にもつながればいい」と願った。佐久市の萩原あゆみ・移住交流推進課長は

## 上田 松本直行バス 25日から来月6日運休

上田市と松本市は、観光連携事業として運行している上田駅（上田市）と松本バスタミナル（松本市）を結ぶ直行バスについて、25日から5月6日まで休止することを決めた。大型連休中に新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ目的。直行バスは、2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」の放映を機に、観光交流を指して同年2月から運行を開始。土日祝日と8月の平日に1日2往復している。今回運行を休止するのは今月25、26、29日と、5月2、6日の計8日間。大型連休明けの運行について両市は「今後の新型コロナウイルスの動向を見て判断したい」としている。